がまんや忍耐ではない 炭素文明からの脱却という新たな挑戦！

ドキュメンタリー映画

Wende 2
未来へのアプローチ



杉山範子

プロデューサー
竹内　守
監督　髙垣 博也
撮影　安田 淳一
照明　はの ひろし
録音　岩瀬　航
音楽　小林 一尚
ナレーター
都築　俊

協力
東海学園大学　名古屋キャンパス
長野県辰野高校
豊田市　鈴鹿市
福知山市　長野県
亀岡市

Covenant of Mayors for Climate & Energy JAPAN
世界首長誓約／日本

主題歌「輝く地球の MIOTSUKUSHI 2022vr」
作詞　希咲
作曲　小林　一尚
唄　くりた ふみこ
小林　一尚

©2023ヴェンデ 2 製作委員会

G 映倫

Wende2 未来へのアプローチ

オセロの駒がひっくり返っていくみたいに、持続可能でない社会を地域からひっくり返して 持続可能にしていく事をめざしたい ――

社会の仕組みを変える

今、多くの方が思っている地球温暖化対策は、CO_2の削減です。

２０２１年、気候変動対策の一つの柱である緩和策として自然エネルギーの取組みを紹介した「ヴェンデ～光と水のエネルギー～」を制作しました。

省エネや節電は個人で参加できる大切な温暖化対策ですが、自然エネルギーへの転換は、個人レベルでは取り組みが難しいものです。

しかし、今、温暖化対策の遅れが気象災害の激甚化を招いています。地域によって対策は異なりますが、生活スタイルを変えていくことが重要です。これを適応策と言います。それは様々な分野に及び、地域によって異なる対応が求められています。

WENDE とはドイツ語で大改革の意味。
化石燃料から自然エネルギーへと転換するエネルギー革命の意味でも使われる。






緩和策と適応策

CO_2を減らすという緩和策は地球規模で行われますが、適応策は自分自身の健康であったり、食料の問題であったりします。地域の問題であり、それは必ず解決しないといけない課題です。地域にどんな弱点があるのか、どんな影響が出やすいのか？　地域で考えて対策が必要になります。だからこそ、適応策は難しくなります。

社会、経済、文化、すべてに気候は関わっています。それが根本的に変わっていくのが気候変動。変わる気候に対して私たちは適応せざるを得ません。農業、健康、防災などの分野、それぞれが別の事ではなく、全部やらなければなりません。すべての分野、すべての地域にあるからこそ、身近な対策でもあります。

身近にある変化を感じ、個々人が地域を知り対策していかなければなりません。



主な出演者

杉山 範子 / 名古屋大学 大学院環境学研究科 附属持続的共発展教育研究センター 特任准教授
一ノ瀬 俊明 /（研）国立環境研究所上席研究員　社会システム領域
浜田 崇 / 長野県環境保全研究所　自然環境部　温暖化対策班
松井 利夫 / 陶芸家 かめおか霧の芸術祭総合プロデューサー
島田 勇巳 / 高槻バイオチャーエネルギー研究所
井上 保治 / 一般社団法人　日本クルベジ協会　理事
布施田 雅浩 /（有）童仙房茶舗

LINE 友だち追加
上映情報など、最新のお知らせをお届けします。

AFF2 ARTS for the future! 2
AFF2（Arts For the Future!）とは　文化庁 令和3年度補正予算事業であり コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業です。

©2023ヴェンデ２製作委員会

ドキュメンタリー映画「Wende2 未来へのアプローチ」～上映会＆トークイベント

■とき ２０２３年７月２３日(日) 開場13：30　開演14：00～16：30

■ところ くわなメディアライヴ 多目的ホール（桑名市中央町３丁目７９　TEL 0594-24-1468）

※参加費用無料（事前申込不要）

主催　NPO 法人地域資源ネットワークみえ
お問い合せ…090－5615－0258（長谷川）

後援　桑名市・桑名市教育委員会
NPO 法人地域資源ネットワークあいち

協力　三重県映画センター

①１４：００～１５：３５映画「Wende2」上映
②１５：４５～１６：３０トークイベント
§ トークショウ参加メンバー §
①杉山範子 / 映画の主役：名古屋大学大学院環境学科特任教授
②曾山信雄 / 中部地方環境事務所 環境対策課 課長
司会＆進行役 ③新海洋子 / 内閣府地域活性化伝道師 /
一般社団法人 SDGs コミュニティ代表理事